

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	沖縄障害者福祉工場
住所	沖縄県国頭郡恩納村字山田 1 5 4 8 - 1
電話番号	0 9 8 - 9 6 5 - 5 9 0 2

事業所番号	4711750044
管理者名	上 地 良 一
対象年度	令和 5 年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所：読谷高校</p> <p>実施日程：令和 5 年 1 2 月 12 日</p> <p>実施した生産活動・施設外就労の概要：地域福祉講演会「SDGs 男女共同参画事業アンコンシャス・バイアスを知ろう！」</p> <p>(令和 5 年度講座等企画団体助成事業：(公財)おきなわ女性財団)</p> <p>講師：玉城直美 (株) うなゐ沖縄、鉄筋ビビンバ (オリジン)</p> <p>利用者数 5 8 名 (高校生、教員、一般 他)</p>	<p><活動の様子></p> <p>・活動の様子の写真：</p> <p>・成果物の写真：</p> <p>・活動内容の追加コメント：</p> <p>SDGsとりわけジェンダー教育の専門家である玉城直美先生による「アンコンシャス・バイアス」の講演とお笑い芸人のオリジン・コーポレーション所属、鉄筋ビビンバによる「アンコンシャス・バイアスあるある」のコント及びトークセッションを実施した。持続可能な目標の一つであるジェンダー教育を通して、男女共同参画社会を築き上げ、無意識の偏見・差別をなくすことを目指すことを目的とした。講演会の司会進行は高校生 2 名が担当し、スムーズに進めることができた。参加者は、アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見・差別）やルッキズム（外見で判断する）が、女性の社会進出を阻む一因となっていることを理解し、今後、社会に巣立つ高校生にとって有意義なものとなった。講演後のアンケートから、初めて聞く言葉であったが、大変分かりやすく、ためになりましたとのコメントもあった。本法人でも障がい者を含め、職場において、男女共同参画を意識して行動することを実践していく。</p> <p>今回の講演会は、おきなわ女性財団、読谷高校、読谷村社協、琉球銀行、ホテル日航アリビラ等の共催、後援により、地域連携及び社会貢献をという目的を達成できた。</p>	   
<p><目的></p> <p>・地域連携活動のねらい：SDGs事業ジェンダーの取り組みの一環として、男女共同参画社会をテーマとした講演会で、高校生を対象とした。</p> <p>・地域にとってのメリット：公益財団法人や高校、社協、地元企業との連携により実施し、人材不足を補うための各社のPR効果も兼ねた講演会である。</p> <p>・対象者にとってのメリット：高校生の男女共同参画の重要性を再認識してもらい、ジェンダー教育の一助となった。</p>		
<p><成果></p> <p>・実施した結果：財団や高校側との連携が深まり、また、SDGs に関する学習効果も得られた。</p> <p>・得られた成果：業務上、納品先であるホテルとの連携も兼ねており、今後も取引する上で信頼関係を築くことができた。</p> <p>課題点：社協から高校生以外の地域住民にも周知したほうが、良かったとの意見もあり、今後の課題といえる。</p>		

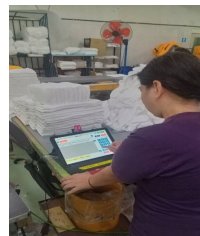

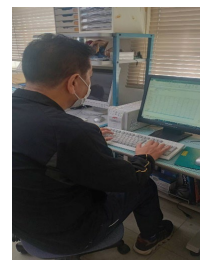
連携先の企業等の意見または評価

<p>連携した結果に対する意見または評価：地元の各連携先の企業等から、SDGsへの取り組み状況や高校生から、講演会に対する好評の意見が多く、また、障害者も含めた男女共同参画の重要性を再認識した。</p> <p>今後の連携強化に向けた課題：(公財)おきなわ女性財団、社会福祉協議会、高校及び各企業との連携や社会貢献の取り組みを通して、社会福祉法人の役割を果たし、また、高校生や利用者のSDGsに関する意識の向上を図っていく。</p>			
連携先企業名	(公財)おきなわ女性財団、読谷高校、読谷村社会福祉協議会、琉球銀行、ホテル日航アリビラ、沖縄ハム総合食品、琉球村	担当者名	上原一美、グリーク優子 他

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	沖縄障害者福祉工場	事業所番号	4711750044
住 所	沖縄県国頭郡恩納村字山田 1 5 4 8 - 1	管理者名	上地 良一
電話番号	0 9 8 - 9 6 5 - 5 9 0 2	対象年度	令和 5 年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 活動場所：沖縄身体障害者福祉工場 実施日程：令和 5 年 4 月 1 日～ 実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要： 新しく導入した生産在庫管理システムによる生産入力作業 利用者数 生産入力担当者 10 名 <p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい：生産枚数を各ホテルごとに種類分けし、タブレット端末に入力を行い業務の効率化を図る 利用者にとってのメリット：従来は紙媒体で生産枚数を管理していたがシステム化により「書く」作業をなくし、誤計算を防ぐこと <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 実施した結果：業務の効率化及びパソコン動作の向上につながった。 得られた成果：当初は、タブレット端末への入力作業に戸惑っていたが慣れと共にスピードアップし、スキルの向上につながった 課題点：桁数や枚数の単位の間違いなど一部にみられる 	<p><活動の様子></p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の様子の写真 成果物の写真 活動内容の追加コメント <p>新たに導入した生産在庫管理システムであったが、従来の紙媒体からの変更に伴い、利用者によるトラブル、誤操作、誤入力などが懸念されたが指導員の操作方法等の説明などにより、大きな問題もなくスムーズに進められた。</p> <p>パソコン操作に不慣れな利用者もいたが、操作方法に関心を持ち、次第に安心して入力作業を任せられるようになってきた。</p> <p>利用者が入力したデータを当日分及び月末の集計を指導員が行う</p>	  
--	---	--

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<ul style="list-style-type: none"> 連携した結果に対する意見または評価：業務請負元のニューラッキーランドリー社との連携により、クリーニング工場内の生産在庫管理システムの導入を図った。また、想定した誤入力も少なくスムーズにシステムは稼働している 今後の連携強化に向けた課題：利用者でも対応できるシステムを開発し、生産在庫管理の質の向上を図る 	
連携先企業（担当者）	(有)ニューラッキーランドリー（上地 正良）

利用者からの意見・評価

<ul style="list-style-type: none"> 最初は、システム入力作業に不安を感じたが、適切な操作指導により、スムーズに対応ができた。 タブレット端末を操作するのは初めてだったが、手順を守れば割と早く処理できた。
--

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	沖縄障害者福祉工場
住所	沖縄県国頭郡恩納村字山田1548-1
電話番号	098-965-5902

事業所番号	4711750044
管理者名	上地 良一
対象年度	令和5年度

(I) 労働時間		80 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	○	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		

①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(II) 生産活動		60 点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う資金の総額以上	○	
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う資金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う資金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う資金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う資金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う資金の総額未満		

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点

(III) 多様な働き方（※）		15 点
①免許・資格取得、検定の受検助奨に関する制度		
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）	6	

（※）8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(IV) 支援力向上（※）		0 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合		
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している		
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	2	

（※）8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	

1事例以上ある場合:10点

(VI) 経営改善計画		0 点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	

期限内に提出していない場合:-50点

(VII) 利用者の知識・能力向上		10 点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	

1事例以上ある場合:10点

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 80点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計	175 点 / 200点
----	-----------------

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I ～IV、VI）

(I) 労働時間

前年度（令和 元 年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	87,717	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	12,076	人	利用者の 1 日の平均労働時間数	7	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	--------	---	------------------	---	----

(II) 生産活動

会計期間（4 月～ 3 月）

前々々年度（平成 29 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	131,412,930	円	利用者に支払った賃金総額	70,860,830	円	収支	60,552,100	円
-----------------	-------------	---	--------------	------------	---	----	------------	---

前々年度（平成 30 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	105,036,418	円	利用者に支払った賃金総額	67,883,887	円	収支	38,152,531	円
-----------------	-------------	---	--------------	------------	---	----	------------	---

前年度（令和 元 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	105,738,953	円	利用者に支払った賃金総額	66,903,277	円	収支	38,835,676	円
-----------------	-------------	---	--------------	------------	---	----	------------	---

(III) 多様な働き方

前年度（5 年度）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度 ◎免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>	②利用者を職員として登用する制度 ◎利用者を職員として登用する制度を定めている <input type="checkbox"/>	③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている <input type="checkbox"/>
④フレックスタイム制に係る労働条件 ◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている <input type="checkbox"/>	⑤短時間勤務に係る労働条件 ◎短時間勤務に係る労働条件を定めている <input checked="" type="checkbox"/>	⑥時差出勤制度に係る労働条件 ◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている <input checked="" type="checkbox"/>
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度 ◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>	⑧傷病休暇等の取得に関する事項 ◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている <input checked="" type="checkbox"/>	

(IV) 支援力向上

前年度（5 年度）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 ◎研修計画を策定している <input checked="" type="checkbox"/> ◎外部研修、もしくは内部研修を 1 回以上実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> ※研修名 BCPに関する研修 研修講師 園定 至 実施日・受講者数 9 月 7 日 3 人	②研修、学会等又は学会誌等において発表 ◎研修、学会等又は学会誌等において 1 回以上発表している <input type="checkbox"/> ※研修、学会等名 実施日 月 日 ※学会誌等名 掲載日 月 日 発表テーマ	③視察・実習の実施又は受け入れ ◎先進的事業者の視察・実習の実施している もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている <input checked="" type="checkbox"/> ※先進的事業者名 ㈱ヤブサメ、㈱アルサ 実施日/参加者数 6 月 12 日 3 人 ※他の事業所名 NPO就労支援A型協議会(滋賀県) 実施日/参加者数 9 月 8 日 10 人
④販路拡大の商談会等への参加 ◎販路拡大の商談会や展示会等へ 1 回以上参加している。 <input type="checkbox"/> ※商談会等名 主催者名 日時 月 日 内容	⑤職員の人事評価制度 ◎職員の人事評価制度を整備している <input type="checkbox"/> ◎当該人事評価制度を周知している <input type="checkbox"/> 人事評価制度の制定日 年 月 日 人事評価制度の対象職員数 名 うち昇給・昇格を行った者 名 当該人事評価制度の周知方法	⑥ピアサポーターの配置 ◎ピアサポーターを配置している <input type="checkbox"/> ◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している <input type="checkbox"/> ※配置期間 月 日～ 月 日 就業時間 職務内容
⑦第三者評価 ◎前年度末日から過去 3 年以内に福祉サービス第三者評価を受けている <input checked="" type="checkbox"/> ※評価を受けた日 月 日 第三者評価機関	⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等 ◎ISO が制定したマネジメント規格等の認証等を受けている <input type="checkbox"/> ※認証を受けた日 月 日 規格等の内容	

(VI) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 <input type="checkbox"/>
※受理日 年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。